



このグラフに表示する情報の組み合わせは自分で変更することもできます。グラフの上の【**グラフ配置設定**】のボタンを押すと2ページに亘って表示される8つのグラフの表示内容を自分で設定することができま

す。この組み合わせを変えることによって自分の牛群の情報を客観的に把握するツールとすることができま

## 【繁殖台帳→個体台帳を作成してみましょう】

実際、コンピュータで繁殖台帳や個体台帳の管理を始める際に面倒なのが「最初に台帳を作成する」ことです。通常、台帳には耳票番号や検定番号、出生年月日、移動年月日、母牛の番号等は最低でも記入しておく必要があります。全頭の台帳を最初に起票し、出生・移動等がある度にパソコンを起動して記入するのは簡単な様で、あまり長続きしないのが現場での実状です。

「入力」タブから「**個体台帳**」を選択すると個体台帳が開きます。

個体台帳への記載は当該農家からの出生や移動等に伴う耳票番号の報告により自動的に反映されます。そのため、まだ出荷していない乳雄子牛が台帳に存在することもあります。既に**基本的な情報の多くが入力されているため手間が掛からず、出生牛の登録や除籍牛の抹消を忘れることもありません**(データはあります)。

父牛の情報は検定情報にはありますが通常の出生報告にはありません。そのため、情報入力されている検定牛には反映されていますが、非検定牛や情報が入力されていない牛では、ここに表示されないことに注意下さい。

## 【活用しましょう。検定農家の大きなメリットです】

今まで、牛群検定と台帳登録に関して手間と費用に較べてそのメリットに疑問を持つ畜主の方がいらっしゃいました。今回の『繁殖台帳Webシステム』は検定農家への大きなメリットだと思います。また、利用に関しては基本的に無料です。市販の繁殖管理ソフトの価格が幾らでしょうか？しかも検定情報は自動的に入力され、耳票情報等の個体情報の多くも自動で入力されます。インターネットへの接続環境は必要ですが、利用しない手はありません。是非ともこの利用をお奨めします。



# 「繁殖台帳Webシステムに一度触れてください」その2

広酪事業推進課 係長 大島達夫 (問い合わせ先) ☎ 0824-64-2072

先月より(一社)家畜改良事業団によって運用される『繁殖台帳Webシステム』の紹介をしています。その画期的な機能について、引き続き幾つかご紹介したいと思います。

## 【牛の状況把握は幾つものモニター項目を絡めて考える必要がある】

単純に牛個体毎の乳量や乳脂肪分率、体細胞数を  
知るだけであれば、従来の牛群検定で得られる「数字  
の羅列」でも充分だと言えます。しかし、個体や牛群  
の状況を数字により把握する(眼に見え難いものを分

かり易くする)ためには、牛個体から得られる情報を  
組み合わせることが非常に重要です。『バルク乳の乳  
脂肪率が低い』という問題を考える上においても、い  
くつもの要素に分けて考えていく必要があります。

バルクの乳脂肪率が低い	初産牛が多い	乳量出ている	乳タンパク質率高い	①
			乳タンパク質率低い	②
		乳量出していない	乳タンパク質率高い	③
			乳タンパク質率低い	④
	初産牛は少ない	乳量出ている	乳タンパク質率高い	⑤
			乳タンパク質率低い	⑥
		乳量出っていない	乳タンパク質率高い	⑦
			乳タンパク質率低い	⑧

実際牛群が、①の『初産牛が多くて乳量も出ている  
乳タンパク質率も高い』のであれば、アシドーシスさ  
え起こしていなければ2産次への繁殖を考慮した場  
合、現状はそんなに悪くないのかもしれません。

しかし、⑧の「初産牛が少なく、乳量も少ない。乳  
タンパク質率も低い」状況なら、この牛群はいま大き

な問題を抱えているのかもしれませんが。しかし、通常、  
一大家族で多数の牛を飼養管理している現状では、「多  
くの牛の検定情報を組み合わせて数字を読み取る」と  
いうのは事実上、困難だと思います。

そこで今回の『繁殖台帳Webシステム』が役に立ち  
ます。

## 【牛群検定情報を自由に組み合わせてグラフ化できる】

『繁殖台帳Webシステム』では、牛群検定で得られ  
る情報を幾つも組み合わせてグラフ化して分かり易く  
表示することが出来ます。

「牛検のタブ」から「乳量と乳成分のグラフ」を選択

すると色々な情報を組み合わせたグラフが自動で表示  
されます。検定年月日を変更すれば過去の状況や移り  
変わりも簡単に見ることができます。